

**令和4年度 調布市立第七中学校 学校経営計画（学校長 山田 勝）**

学校の教育目標	
校訓 「自尊・立志・感動」 ～徳・知・体の調和のとれた生徒の育成～ ○自尊 「徳」 自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒 ○立志 「知」 夢や希望を持ち、絶えず学び続ける生徒 ○感動 「体」 心と体を鍛え、爽やかな感動を生む生徒	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
【目指す学校像】 生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校 【目指す生徒像】 ○自尊 自分を大切にし、思いやりの心を持つ生徒 ○立志 夢や目標を持ち、絶えず学び続ける生徒 ○感動 心と体を鍛え、爽やかな感動を生む生徒 【目指す職員像】 ○愛情と理性を持って、生徒に本気で関わる職員 ○健康で自己の強みを理解し、生かすことのできる職員 ○指導の目的を共有し組織力の向上に努める職員	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	○現状：生徒・教職員・地域住民が七中に魅力と誇りを実感できるよう「地域協働の学校」作りを目指している。 ○課題：生徒一人一人の「自他を大切にできる心」と「生きる力」を育てていくことが課題である。
中期的な経営目標	
① 人権意識の醸成と、トラブルを学びに変える指導の充実。「聴きあえる集団作り」 ② 「主体的・対話的で深い学び」の実践による「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質の向上に向けた授業実践。 ③ 体力向上のための教科横断的な保健指導及び体育指導の充実。集団の一員としての役割を見出し、ベストをつくすことにより「学校には感動がある」ことが実感できる活動の推進。 ④ 「心の居場所」作りの充実。 ⑤ 保護者・地域との連携推進。 ⑥ はしうち教室における新たな学びの提供。	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 毎月いじめ・相談アンケートを実施	①「ねらい」「振り返り」を意識した授業実践	①「オーダーメイドトレーニング」を月1回程度実施
②「話を聴く」「聴きあえる関係作り」の指導	②「学びに向かう力」を意識した取組・講話	②行事において生徒主体の取組の推進
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①「思いやりの心をもって人と接している」90%	①「授業がわかる」「授業が楽しい」80%	①「体を動かすことが楽しい」80%
②「聴きあえる集団である」90%	②「授業に意欲的に取り組んでいる」80%	②「集団を構成する意識を持ち取り組んでいる」90%
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 心の居場所作り	5 保護者・地域との連携推進	6 はしうち教室
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①SSルームを核とした個別支援の充実	①地域学校協働本部との連携推進	①丁寧な個別指導の実践
②校内委員会を核とした不安感の把握と解消の推進	②地域等への貢献活動の推進	②本校との情報共有・人的資源の共有活用推進
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①校内委員会と連携し必要な支援 100%実施	①地域材を活用した自習教室年間4回実施	①個々の生徒のニーズに応じた指導
②「充実した学校生活を送れている」90%	②ボランティア活動への参加生徒延べ500人以上	②検証を受け運営の見直し・調整推進

人材育成・組織運営
<ul style="list-style-type: none"> <li>企画会議において、学校運営の調整確認だけでなく、学校を取り巻く諸課題について検討することを通し主幹教諭・主任教諭の意識を高めスキルアップを図る。</li> <li>学年・分掌を越えた全校体制での若手教諭へのOJTの機械設定と推進を進める。</li> <li>各自が分掌する職務を明確にすることで、組織的な学校運営を推進する。</li> </ul>